

なぜ? なに? シールQ&A



どうしてこんなシールが必要なの?

高島市でも、訪問販売に悩まされている人が一杯います。特に、一人暮らしのお年寄りや、赤ちゃんと一緒におうちにいるお母さんなどは被害に遭いやすいため、このような方々を被害から守ることが目的です。

それなら、希望するところだけに配つたらしいんじゃないの?

特定の人との間にシールを貼る、逆に事業者にお年寄りなどのおうちを教えてしまったことになってしまっています。

こんなシールだけで「悪質な」事業者があきらめるの?

滋賀県の条例で、「勧誘を断つているにもかかわらず、なおも勧誘を続けてはいけません」ということが事業者に決められています。つまりこのシールを見ているのに「説明だけでも」と勧誘を続けると、事業者は違反行為をしたことになるのです。

でも、悪質な事業者だけなんだよね? 「点検をしますよ」とか「アンケートにお答えいただくと景品プレゼント」と言って訪問してくれる事業者はいませんか?

断つても「無料なのにどうして」と言われ、ドアを開けると、結局、高い買い物を迫られるというケース。実はこれ、法律で禁止されている勧誘なのです。

法律では、勧誘する前に、会社の名前や何の商品の勧誘なのかを告げなければいけないと定められています。ほんとうに悪質でないなら、勧誘のまえに「〇〇の商品をお勧めにきました」と讀み下がるでしょう。「どうぞなれば『悪質』なのはません」と読むべきです!

事業者がこの違反行為をしたら、その契約は取り消せるの?

勧誘に先立つて目的を告げなかつたことだけで取消しそうのは難しいですが、断つても断つても帰つてくれなかつたことから困つてした契約は取り消すことができるし法律で決められています(契約から半年以内)。



今回配布する「悪質な訪問販売お断り」シール。ご利用ください。

車椅子マークがある区画は身体障害者専用駐車場です



市内のJR湖西線各駅前の市営駐車場には、身体の不自由な方の駐車スペースを確保するため、身体障害者専用駐車場として、車椅子のマークを明示した区画を2区画から1区画設置しています。

しかし、専用駐車場であるにもかかわらず、「停める人はそんなにいいんだろう……」「ひとりくらい停めていいよ……」「ちょっとだけなら……」といふ身勝手な人たちの車で、早朝から一杯です。

この身体障害者専用駐車場を、本來必要とする方が安心して利用できるよう、皆さんの理解と協力をお願いいたします。

問 市民相談室
☎ (075) 81-0255
高島市防犯自治会事務局
(総合防災課内)
☎ (075) 81-1333

問 交通対策課
☎ (075) 80-0904

高島幼稚園カンガルークラブ(高島保育園)に功労団体表彰

工夫を凝らした指導法、熱心な取り組み認められる

6月5日(火)に、滋賀県庁で開催された幼児交通安全指導者研修会において、高島幼稚園カンガルークラブ(高島保育園)が、幼児交通安全指導に対し多くの多大なる功績が認められ、功労団体表彰を受けました。

幼児の興味を引くように工夫を凝らした指導方法や、熱心で効果的な取り組みが特に評価されました。

(交通対策課)



家の中に魔法使いがいませんか? 出来る子どものに

「子どもが手ぶらでお風呂に行つても、いつの間にかタオルと着替えが準備されている」「ゆで卵は皮がむかれて食卓に出てくる」こんな魔法使いのいる家の子どもは、口の中でも梅干しと種を分けることや年切りを使って缶詰を開けることなど、私たちが当たり前と思っていることが出来なくなっています。子どもたちは能力がないから出来ないのではないか、やった体験がないから出来ないだけなのです。

問 体験活動支援センター(青少年課)
☎ (32) 44500

周航ロマンに思い馳せ 25団体が熱唱

6月17日(日)に、課題曲「琵琶湖周航の歌」と自由曲でハーモニーの美しさを競つ第11回「琵琶湖周航の歌」音楽祭合唱コンクールが開催されました。地元をはじめ近畿地方、東海地方、北陸地方から25団体が参加し、結果は次のとおりでした。

- 金賞 合唱団かやの樹 (三重県伊賀市)
- 銀賞 RACCO(ラッコ) (京都府京都市)
- 銅賞 笠田ひまわりコーラス (和歌山県かづらぎ町)



中村忠男さん



西澤幸夫さん

西澤さん、中村さん 日本代表として韓国へ

実力存分に発揮

6月22日(土)～3日(日)にかけて、韓国の蔚山広域市で開催された「第11回日韓スポーツ交流事業」に高島市から西澤幸夫さんと中村忠男さんが日本代表として出場されました。西澤さんは陸上競技(55歳～59歳の部)100mと400mに出演され、2種目とも見事優勝。中村さんはバドミントン競技の男子40歳以上部とミックスダブルスに出演され、決勝トーナメント進出といつすばらしい成績を収められました。

(市民スポーツ課)

当たり前のことが出せる子どもに

「子どもが手ぶらでお風呂に行つても、いつの間にかタオルと着替えが準備されている」「ゆで卵は皮がむかれて食卓に出てくる」こんな魔法使いのいる家の子どもは、口の中でも梅干しと種を分けることや年切りを使って缶詰を開けることなど、私たちが当たり前と思っていることが出来なくなっています。子どもたちは能力がないから出来ないのではないか、やった体験がないから出来ないだけなのです。

問 体験活動支援センター(青少年課)
☎ (32) 44500

第1回「琵琶湖周航の歌」音楽祭合唱コンクール

周航の歌」と自由曲でハーモニーの美しさを競つ第11回「琵琶湖周航の歌」音楽祭合唱コンクールが開催されました。地元をはじめ近畿地方、東海地方、北陸地方から25団体が参加し、結果は次のとおりでした。

- 金賞 合唱団かやの樹 (三重県伊賀市)
- 銀賞 RACCO(ラッコ) (京都府京都市)
- 銅賞 笠田ひまわりコーラス (和歌山県かづらぎ町)

(和歌山県かづらぎ町)

(市民会館)

問 体験活動支援センター(青少年課)
☎ (32) 44500